

ROTARY INTERNATIONAL



2017-2018
国際ロータリーテーマ

ロータリー：
変化をもたらす

川崎西ロータリークラブ会報



2017-2018 年度 RI 会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第 2590 地区 川崎西ロータリークラブ

会長 黒川俊一 幹事 上松義典 会報委員長 池田裕一

Kawasaki-West RC Weekly 2017-2018

第 2536 回例会 (17/18 年度第 19 回)

平成 29 年 11 月 24 日 (金)

- 点鐘並びに開会宣言～黒川 俊一 会長
- 斉唱 ～ソングリーダー 三木 博之 会員
R ソング「それでこそロータリー」
- お客様紹介 ～親睦活動委員会 藤田 健司 委員
村田 早耶香 様 (本日のゲストスピーカー)
湯川 拓海 様 (")
大和田 弘 様 (東京西 RC)
久本 弥 様 (RI 第 2590 地区インターアクト委員長・
横浜本牧 RC)
吉澤 和久 様 (川崎西北 RC)
周 東博 様 (米山奨学生)

■ 米山奨学金の授与

～黒川 俊一 会長
周 東博 米山奨学生



■ 臨時理事会報告 ～黒川 俊一 会長

吉田 恵一 会員が「濱田庄司記念碑」周辺の美化に長年お努めになっていることに次回例会で感謝状を贈呈いたします。

■ 会長報告 ～黒川 俊一 会長

- ① 2018 年 2 月 10 日のマラソン大会説明会のお知らせ。
日時 12 月 8 日 (金) 16:30 於 ソシア 21
- ② 第 3 グループ親睦ゴルフ大会開催案内
日時 2018 年 3 月 14 日 (水) 於 よみうりゴルフ
- ③ この度、川邊裕 会員が瑞宝双光章を受章するにあたりクラブとして心より敬意を表しお祝い申し上げます。
- ④ パンプ「地元の子供の貧困に目を向け、対策に取り組んでみませんか？」を配布しました。ご参考にしてください。

⑤ 川崎市高津区社会福祉協議会より平成 29 年度の会費納

入の依頼が参っております。例年通り対処致します。

⑥ 多摩川新聞社より平成 30 年「新春特集号」協賛広告の依頼が参っております。例年通り対処致します。

■ 幹事報告 ～上松義典 幹事 会報裏面をご覧ください。

■ 各委員会報告

□ 出席委員会

本日	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2536 回	69 名	68 名	58 名	10 名	85.3%
前々回修正		メキヤップ	15 名	0 名	100%

□ 青少年奉仕委員会 ～山寺 雄太 委員長

11 月 18 日 (土) のこども・子育てフェスタのお手伝いありがとうございました。無事に何事もなく開催できましたことをご報告申し上げます。

□ 親睦活動委員会 ～佐野 和人 委員長

11 月 26 日 (日) 12:00 より斉藤 PG のご自宅にて、12 月 15 日の年末家族会に使用する柿もぎをいたしますのでお手伝いを宜しく願いいたします。

また、年末家族会で使用するためのビール以外の酒奉行の窓口を開始いたしますので、皆様、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

■ 卓話 ～「こどもが売られる！」認定 NPO 法人かものはしプロジェクト 共同代表 村田 早耶香 様



皆様こんにちは。かものはしプロジェクト共同代表の村田早耶香です。

私達の団体は主に途上国で子供達が売られる問題をなくす活動をしています。本日は、カンボジアとインドでの活動報告をしたいと思っています。

カンボジアの活動報告ですが、当時 カンボジアの売春宿では、5～6歳の子供が売られていました。特に幼児の売春が多いことで有名でした。当時は国の復興の最中で法律も整っていませんでした。こういった状況におかれる子供達が、途上国を中心に約180万人ほど毎年被害に遭っています。国連からは最悪の形態の幼児労働と言われていました。私たちはこれを無くすためにカンボジアで活動を始めました。主に2つの活動をしております。「子供たちを売らせない活動・買わせない活動」です。まず 売らせない活動から始めました。職業訓練校を造り、貧困家庭のお母さん、お姉さんに仕事を作るということをやりました。仕事の収入で家族と一緒に暮らせ、子供が学校に行けるようになる状況を作っています。カンボジアのい草で雑貨をつくる工房を運営しています。一日一食、お昼に味のしみたゆで卵とごはんのみ食べていましたが、七年が経過し三食、食べられるようになり、栄養がたくさんあるスープなどを食べられるようになりました。中には、こつこつ貯金をして家を購入できる家庭も出てきました。こういう風に最貧困の人たちを雇って仕事を提供することによって生活を改善するというのを、これまで約220世帯の人に対して提供してきました。これによって、小学校の就学率は100%になっています。次に買わせない活動です。結局買う人がいる場所には別の場所から子供たちが売られてきます。このことから買う人の数を減らす活動を行いました。カンボジア政府と協力をし、警察の訓練に資金を提供しています。以前は法律を理解していなかったり、証拠を押収する知識がないために警察がきちんと機能してない状況でしたが、これらの活動を進めてきたことにより、加害者や売春宿の摘発件数が増加しています。そのことにより年間の逮捕者件数というのは、9年間で9倍に増えていきました。だんだん警察官が加害者を捕まえるようになってきました。以上のことにより売春宿自体が儲からなくなってきたから辞めようという流れになってきています。それによって2000年ごろですと全体の働いている人の30%が18歳未満でした。これが2015年頃になると非常に少なくなって、全体の2%しか子供の被害者がいないという状況になっています。この15年間で被害者の数は激減しています。これは加害者がちゃんと捕まるようになって、売り先がなくなってきたからです。カンボジアの今後は、新しい法人としてカンボジア事業単体での自立を目指していきます。カンボジア事務所は現地で法人格を取って独立して、貧困削減の為に活動を続けていきます。次に状況がひどかったインドでの活動を始めました。なぜインドかというと、被害者が非常に多いからです。100万人から300万人ほど被害者が出ていると言われていました。そして1回被害に遭ってしまうと社会復帰が非常に難しい

で、こちらの国を次の活動地と選びました。13億人近くいて、国土も広いので非常に困難を極めています。インドでは加害者が裁判でほとんど処罰されないのが、加害者への有罪判決率を上げるための裁判支援を行っております。また、被害に遭った女性を救出し、心のケアや、経済的に自立するための仕事作りを通して被害に遭った子供、女性が人生を取り戻す支援を行っています。また、一人一人の加害者支援をしていく中でわかってきたことを、こういった問題が起こらない社会の仕組みを作るための支援に生かしていきます。今年からインドの中央政府が更にこの問題に対する対策を取るようになってきましたので、政府に現場の状況を伝え、こういった犯罪が起こらない社会を作りたいと思っています。インドは州ごとに自治が非常に強いので、州から州に売られてしまうと、警察もなかなか動いてもらえません。このため、インドの中央政府が全体に対して行動できるような新しい法律を作る必要があります。その法律を作ってくださいというお願いを現在しています。法案自体の文章はできているので、あとは国会の審議にかけてもらって通過をさせるというような状態にあります。これをインド人の人達を中心に行っています。私達は後方支援をしていて、この法律が成立する様に議員に対して働きかける勉強会を行っています。そして被害に遭った子供達の声をお大臣に届けるということを行ってまして、これを新聞にも載せてもらっています。インドは活動を始めてまだ5年しか経っていませんが、これらの活動を広げようとしています。難しい国です。州ごとに法律が違ったり、国土が広かったりですが、希望を感じることはたくさんあります。インドの知識層の人達がこの問題をなくすために動いていて、弁護士さんでも高等裁判所で戦える弁護士資格を持った人が今法律を通そうという動きを作ってくれています。このような変化を生み出していくことで少しずつインドの社会は変わってきています。難しい場所ではありますが、少しずつ変わっていくという希望を感じることができます。インドで活動を広げるために日本から支援を現地に送っています。今6,000人のサポーター会員という月々1,000円ずつの寄付をくださっている方がいらっしゃいますが、この人数を9,000人まで増やすことができれば、インドでも十分に活動ができるので、もし共感して頂けたら、私たちの活動を支えて頂ければ幸いです。今日お配りしているリーフレットの紙のなかにサポーター会員の申込書と私達の活動について書かれています。もし共感して頂けたら、ぜひ申し込みをして頂ければ幸いです。皆様から頂く寄付が現地での人の人生を変えることに繋がっていきます。私からの話は以上です。この問題を知ってくださって、本当に有難うございました。